

令和6年産水稻の8月15日現在における作柄概況

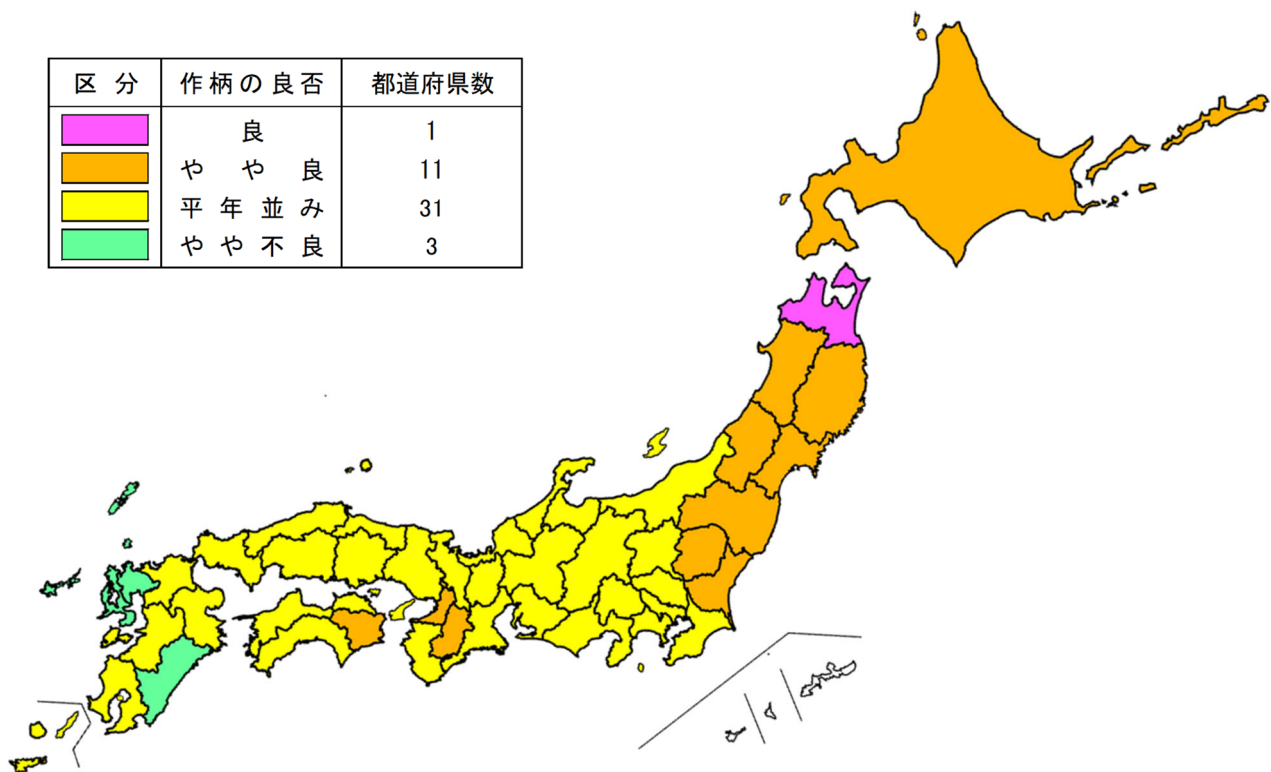
「良」が1県、「やや良」が11道府県、
「平年並み」が31都府県、「やや不良」が3県の見込み

【作柄予測結果の概要】

気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した令和6年産水稻の作柄は、「良」が1県、「やや良」が11道府県、「平年並み」が31都府県、「やや不良」が3県と見込まれる。

これは、5月以降、総じて天候に恵まれた一方で、田植え後の日照不足などの影響が見込まれる地域もあるためである。

図 作柄の良否



- 作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの作柄の良否である。
- 沖縄県については、第二期稲が田植終期に達していないため表章していない。
- 作柄の良否は、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a 当たり予想収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a 当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしていない。
- 作柄の良否の表示区分は、「良」が対平年比 106%以上、「やや良」が 105～102%、「平年並み」が 101～99%、「やや不良」が 98～95%に相当する。

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	ha	kg	t	ha	t	
平成26年産	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4	1,355,000	536	7,269,000	1,251,000	6,701,000	100
5	1,344,000	533	7,165,000	1,242,000	6,610,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、以下により算出している。

平成26年産 : 1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出。

平成27年産から令和元年産まで : 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅で選別された玄米を基に算出。

令和2年産以降 : 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040186258&ext=xls>

【作柄予測の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻の作柄予測及び水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

各都道府県の生育状況等：米ネット（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構）＞水稻の生育状況・技術情報リンク集

<https://www.komenet.jp/linkshuu/suitolink/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を下記の期間に実施します。
令和6年12月中旬～令和7年2月末 農林業経営体調査
令和7年1月中旬～令和7年2月末 農山村地域調査（市区町村調査）
令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）



【目次】

統計表

[令和6年産水稻の作柄概況\(8月15日現在\)](#)

作柄予測の概要

「作柄予測の概要」は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLからご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入している。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 作柄の良否とは、10 a 当たり予想収量が平年と比較して多いか少ないかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

作柄の良否	不良	やや不良	平年並み	やや良	良
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 3 作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったため、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- 4 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和6年産水稻の8月15日現在における作柄概況」（農林水産省）による旨を記載してください。

【統計表】

令和6年産水稻の作柄概況（8月15日現在）

区 分	作柄の良否 (平年比較)
北海道	やや良
青森	良
岩手	やや良
宮城	やや良
秋田	やや良
山形	やや良
福島	やや良
茨城	やや良
栃木	やや良
群馬	平年並み
埼玉	平年並み
千葉	平年並み
東京都	平年並み
神奈川県	平年並み
新潟県	平年並み
富山県	平年並み
石川県	平年並み
福井県	平年並み
山梨県	平年並み
長野県	平年並み
岐阜県	平年並み
静岡県	平年並み
愛知県	平年並み
三重県	平年並み
滋賀県	平年並み
京都府	平年並み
大阪府	やや良
兵庫県	平年並み
奈良県	やや良
和歌山県	平年並み
鳥取県	平年並み
島根県	平年並み
岡山県	平年並み
広島県	平年並み
山口県	平年並み
徳島県 (普通栽培)	やや良
香川県	平年並み
愛媛県	平年並み
高知県 (普通栽培)	平年並み
福岡県	平年並み
佐賀県	やや不良
長崎県	やや不良
熊本県	平年並み
大分県	平年並み
宮崎県 (普通栽培)	やや不良
鹿児島県 (普通栽培)	平年並み

- 注：1 作柄の良否は、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10a当たり予想収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。
- 2 本表における平年比較の表示区分は、「良」が対平年比106%以上、「やや良」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良」が98～95%に相当する。
- 3 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの作柄の良否である。